

大船山

第 16 号

令和 4 年 12 月 19 日

ホームページ <http://www.ena-gif.ed.jp/kamayahagi-e/>

年末年始を「振り返り」と「誓い」の好機に

校長 細江 幸次

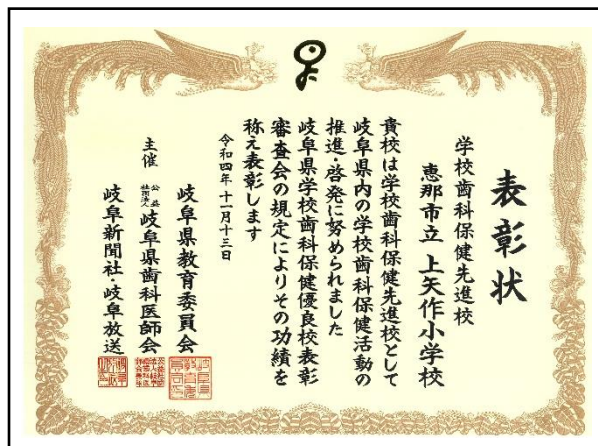
令和4年も残すところ10日余となりました。現在、学校は2学期の学習のまとめが授業の中心となり、冬休みの計画づくりが随分進んでいるところです。今年度、本校では子どもが主体となって取り組む家庭学習への転換をテーマに、様々な取組を展開してきました。夏休みは研究・作品の取組に焦点を当て、ある程度の成果を上げることができました。間近に迫った冬休みでは書き初めの意欲付けとして校内賞の準備をしています。また、冬休み明けに漢字検定を実施するので、それをひとつの目標として自主学習の意欲付けになったらいいなと考えています。

このように学校では「めあて」と「振り返り」を大切にしています。振り返りには大きく短期の振り返りと長期の振り返りの2つがあります。毎日行うような、短期の振り返りはその日その日を楽しく過ごすことができたか、頑張れたことは何か、もう少し頑張ればよかったことはなかったか等、一日の自分自身の言動についての評価が主なものになってきます。一方、学期末や年末、学年末等に行う長期の振り返りは学期の始めや年始、年度はじめの頃と比べて、できるようになってきたことや成長したと感ずること等、自分自身の変化についての評価が主となってきます。人の成長はそれぞれに個人差があり、毎日の生活の中で多くの人はそのことになかなか気づけないまま生活しています。しかし、特に成長期にある子どもたちにとって、長期の振り返りをするには確かな自分自身の成長を自覚し、次への活力になっていくものだと考えています。その意味で、この時期に行う振り返りはとても重要で、そこから生み出される次のステップへのめあて(誓い)は自己の成長にとって大切なものとなっていくはずで

また、学校で行う振り返りの内容は学習と学級・学校における役割の振り返りが中心となってきます。さらにもうひとつ、ご家庭でも振り返りをするによって、今後の自分の在りよう(生き方)や理想とする自分といった、もっと大きな視点からの振り返りができると考えます。ぜひ、年末年始のゆったりしたときに、お子さんとこの一年の振り返りと新年の誓いを語り合っていたらいいなと考えています。

上矢作っ子の活躍

* 令和4年度「税に関する作品(習字)」 恵那市長賞 6年 中根蒼梓
佳 作 5年 市岡芳國



【ご報告】11月13日(日)、瑞穂市総合センターにて学校歯科保健先進校の表彰状をいただてきました。これは学校歯科保健活動において過去に3年間の特選校表彰を受賞する等した後も継続して活動を行い、県内のモデル校としてこれから10年間、歯科保健活動の推進・啓発を行っていく学校に贈られるものです。大変栄誉ある賞をいただけたのも、学校としての取組だけでなく、各家庭・地域のご協力をいただた成果といえます。今後も子どもたちの健全な成長を願ひ、歯・口を核とした健康づくりに取り組んでまいります。